

非行・犯罪行為に 至った障害者と 社会福祉

どのような状況にあらうとも、人は生まれながらに人権を有している。支援が届かなかったり様々な事情ゆえに、結果として非行や犯罪行為に至った障害者がいる。一人ひとりの尊厳を傷つけることなく、差別や偏見に立ち向かう社会のあり方、そのような社会を実現するうえでの社会福祉をめぐる課題について考えたい。

要約筆記あり ※要約筆記・手話通訳が必要な方は
4月10日(水)までに下記問合せ先までご連絡ください。

どなたでもご参加いただけます
**参加費
無料**

当日受付でもご参加いただけますが、
資料配布の都合上、事前申し込みにご協力をお願いいたします。

2024年

日時

5月19日(日)
13:00~16:00(12:30受付開始)

会場

愛知県産業労働センター・
ウインクあいち 901

(名古屋市中村区名駅4丁目4-38、「名古屋」駅徒歩5分)

基調講演

非行・犯罪行為に至った 障害者とその支援

松本 俊彦さん 【国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
薬物依存研究部 部長／薬物依存症センター センター長】



パネル
ディスカッション

〈 パネリスト 〉

- 「犯罪行為に至った知的障害者の背景と立ち直り」
越野緑さん(しが夢翔会 障がい児者相談センターみゆう 相談支援専門員)
- 「地域生活定着支援センターの活動を通して見えたこと」
山田真紀子さん(大阪府地域生活定着支援センター 所長)

〈 コーディネーター 〉

山崎康一郎さん(日本福祉大学社会福祉学部 准教授)

〈 コメンテーター 〉

松本俊彦さん(国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部 部長／薬物依存症センター センター長)

申込方法

右のQRコードまたは下のURLにアクセスし、
申込フォームでお申し込みください。

4月27日(土)
締め切り

申込フォームURL

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc_YLAoGzBHvL8wuDf03XD8lbfKOOomEMVewzPiOzhAud-XQ/viewform?usp=sf_link



問合せ先

日本社会福祉学会中部地域ブロック部会
担当理事・谷口由希子(名古屋市立大学大学院)

〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1
e-mail:tyukiko@hum.nagoya-cu.ac.jp

本シンポジウムは、日本社会福祉学会中部地域ブロック部会春の研究例会の一環として開催するものです。午前中には院生・若手研究者のための勉強会もあり、
会員以外の方も参加可能です。詳細は一般社団法人日本社会福祉学会ウェブサイトの中部地域ブロックのページをご覧ください。

主催 / 日本社会福祉学会中部地域ブロック部会